

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

蛇の目マシン工業株式会社

2012年11月9日

2013年3月期 第2四半期 連結決算概要

2013年3月期 第2四半期 連結決算の要点①

◎経営環境

- ◆ 円高水準の長期継続
- ◆ 欧州金融危機に起因する欧州経済の低迷
- ◆ 中国を始めとする新興国経済成長スピードの減速

◎当社の施策

- ◆ 製造コスト削減による価格競争力の強化
- ◆ 新興国を中心に積極的な販売活動を展開

2013年3月期 第2四半期 連結決算の要点②

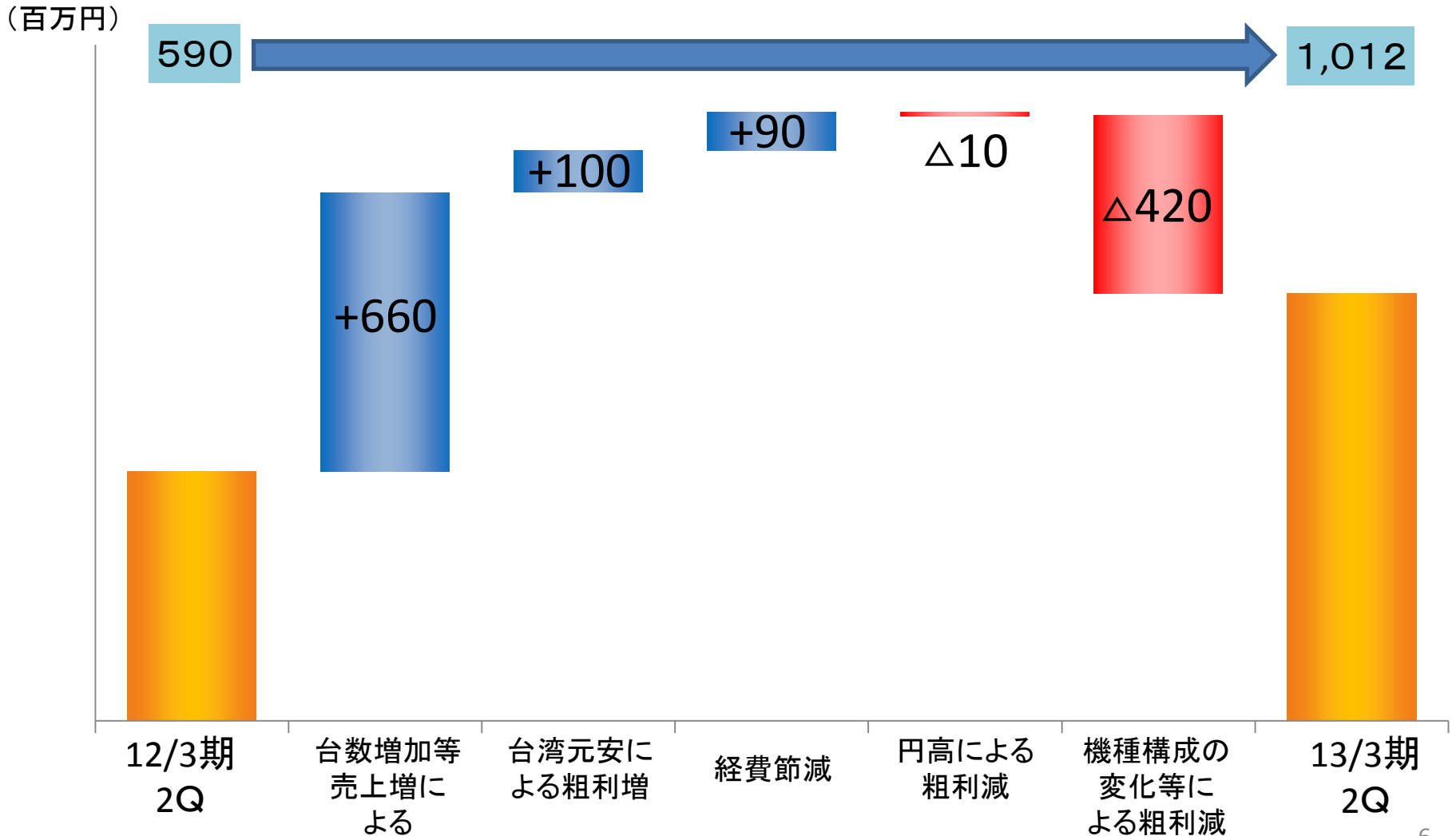
- ◆ ミシン販売台数が上半期で100万台を突破！
【販売台数：103万台（前年同期比10万台増）】
- ◆ 産業機器製品（ロボット・エレクトロプレス）台数も、
上半期での過去最高を記録！
【販売台数：2,800台（前年同期比1,000台増）】
- ◆ 売上高・営業利益は前年同期比で増収増益
- ◆ 経常利益、当期純利益は、主に事業再編損の計上
により、前年同期比減
【営業外費用：事業再編損690百万円】

業績の概要

(百万円)

	11/3期2Q	12/3期2Q	13/3期2Q	増減
売上高	17,811	17,529	19,101	1,572
売上原価 [売上原価率]	10,015 56.2%	10,270 58.6%	11,511 60.3%	1,241 1.7P増
営業利益 [営業利益率]	1,115 6.3%	590 3.4%	1,012 5.3%	422 1.9P増
経常利益 [経常利益率]	980 5.5%	708 4.0%	292 1.5%	△416 2.5P減
当期純利益	567	380	37	△343
為替レート(対米ドル)	88.93円	79.80円	79.41円	△0.39円

営業利益の増減要因



事業セグメント別業績

(百万円)

		11/3期2Q	12/3期2Q	13/3期2Q	増減
家庭用機器	売上高	14,241	14,135	15,081	946
	営業利益	855	414	643	228
産業機器	売上高	2,137	2,093	2,730	636
	営業利益	259	204	388	183
その他	売上高	1,432	1,300	1,290	△10
	営業利益	21	△3	△10	△6
合計	売上高	17,811	17,529	19,101	1,572
	営業利益	1,115	590	1,012	422

※営業利益合計数字にはセグメント間取引消去を反映

セグメント別概要【家庭用機器】

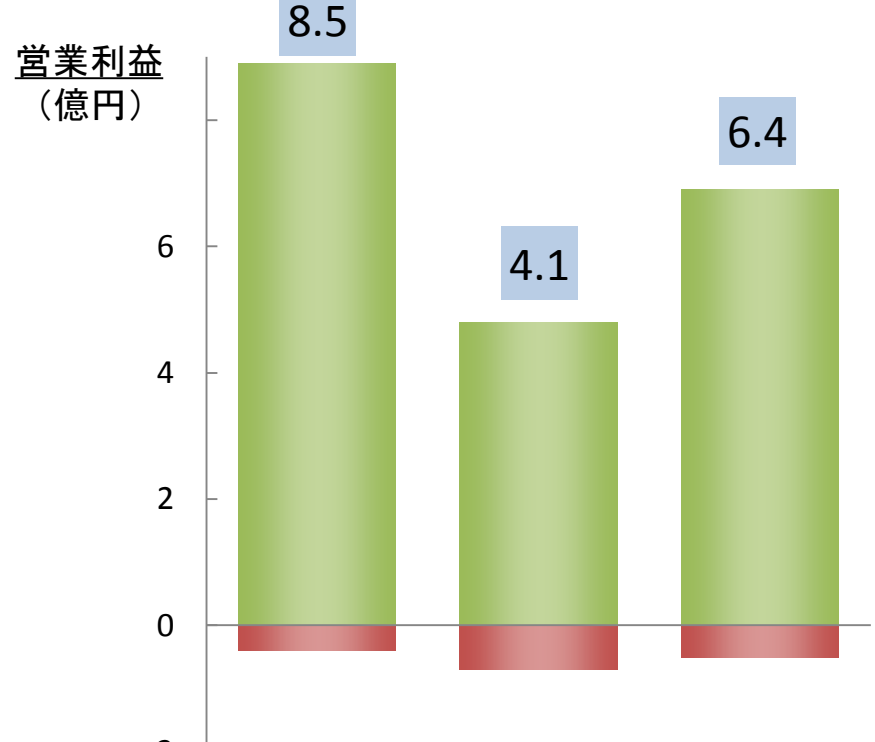
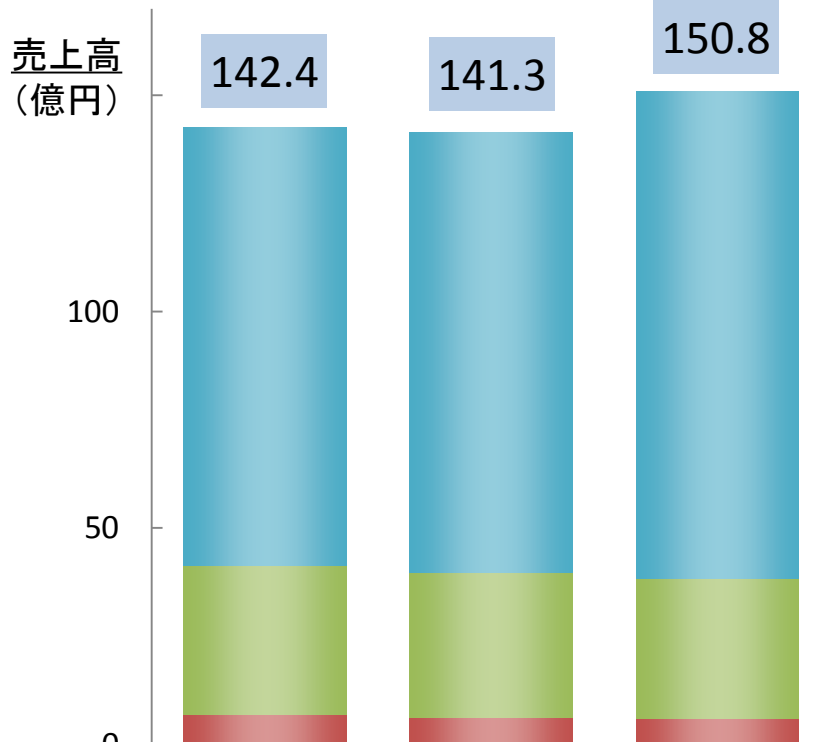
◎海外ミシン市場

- ◆ 特にロシア、及び周辺諸国での販売が好調に推移
- ◆ 新興国での積極的な市場開拓による販売の拡大

◎国内ミシン市場

- ◆ 中・高級機種の販売は堅調に推移したが、特に低価格機種の販売台数減少が影響

セグメント別売上高・営業利益【家庭用機器】



■ 海外マシン	101.1	101.7	112.4
■ 国内マシン	34.4	33.4	32.5
■ 24風呂	6.9	6.2	5.8

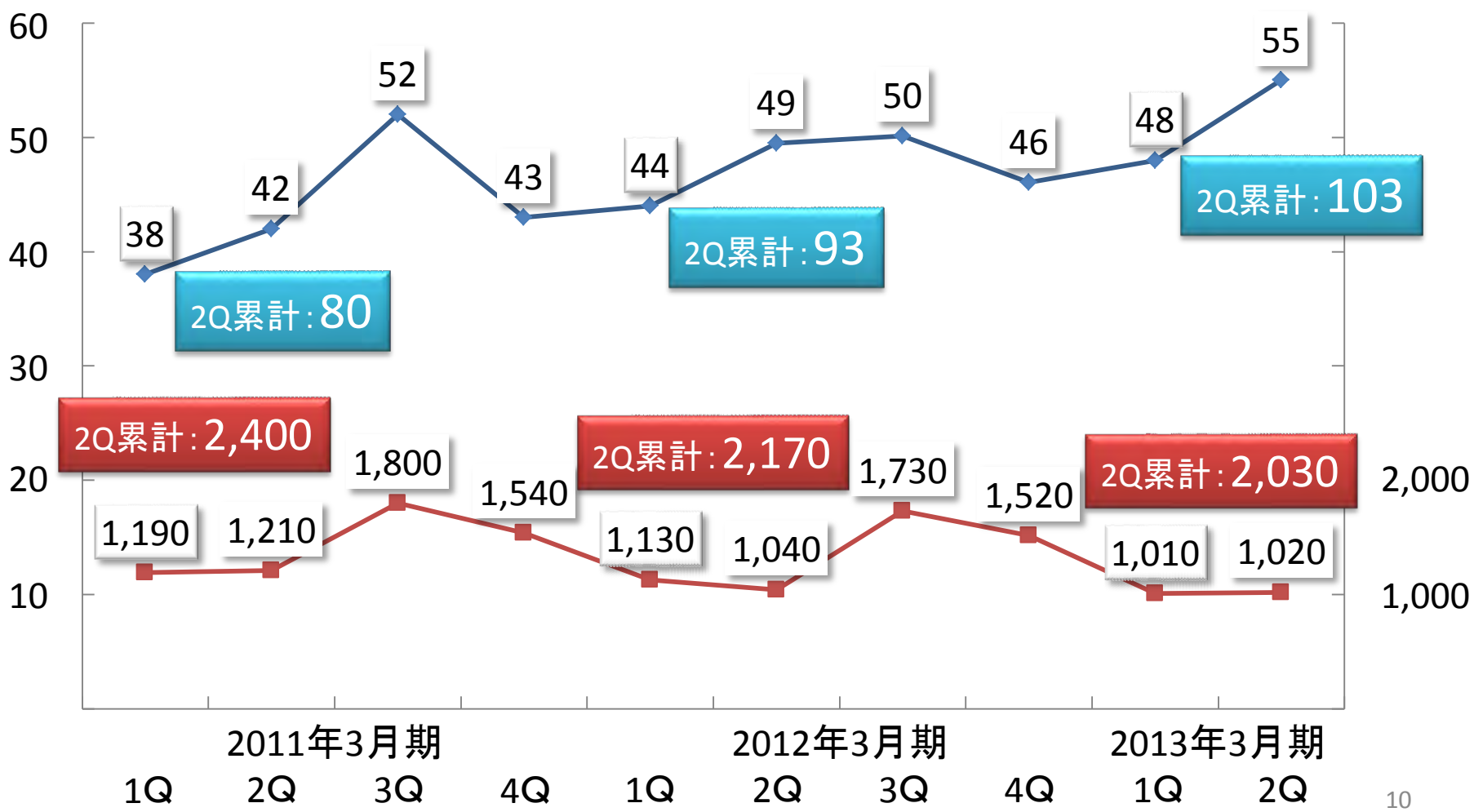
■ ミシン関連	8.9	4.8	6.9
■ 24風呂	△ 0.4	△ 0.7	△ 0.5

24風呂:24時間風呂

販売台数四半期推移【家庭用機器】

— ミシン(万台)

— 24時間風呂(台)



セグメント別概要【産業機器】

◎卓上型ロボット・エレクトロプレス

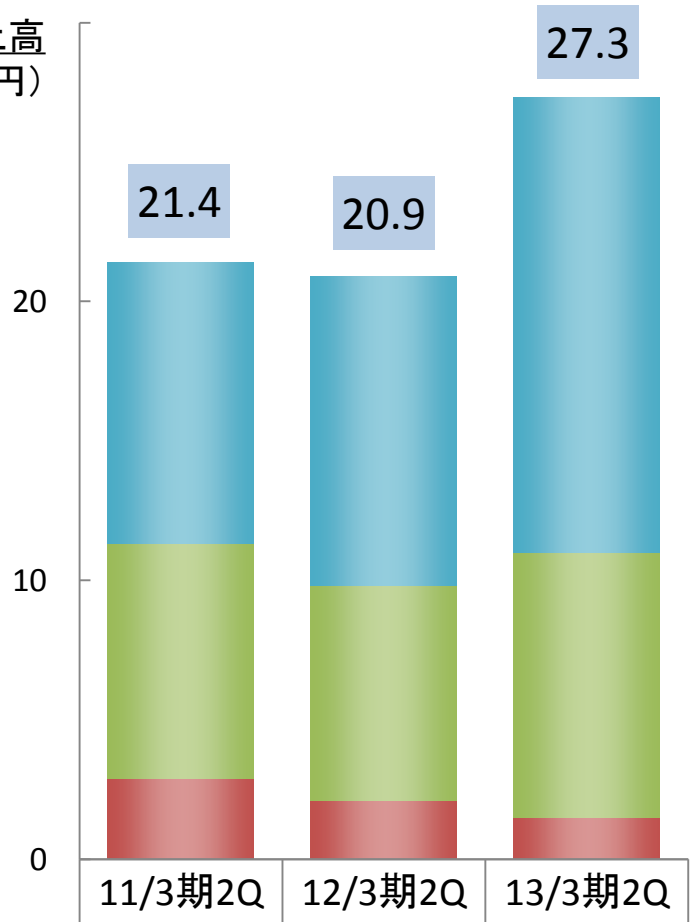
- ◆ 主に中国等のアジア市場において、情報端末機器や家電、自動車等の部品製造企業を中心に大幅増

◎ダイカスト事業

- ◆ 特に自動車関連企業等からの受注により伸長

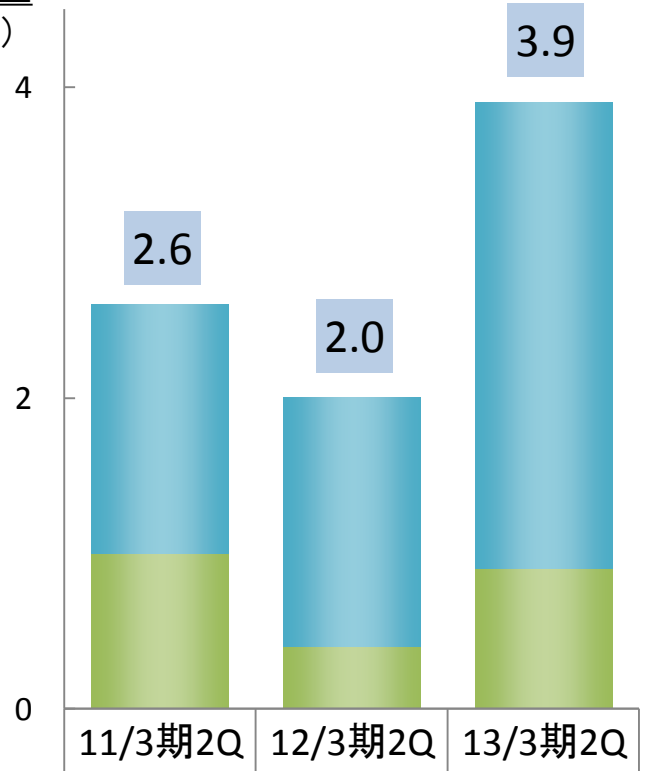
セグメント別売上高・営業利益【産業機器】

売上高
(億円)



■ ロボット・プレス	10.1	11.1	16.3
■ ダイカスト	8.4	7.7	9.5
■ その他	2.9	2.1	1.5

営業利益
(億円)

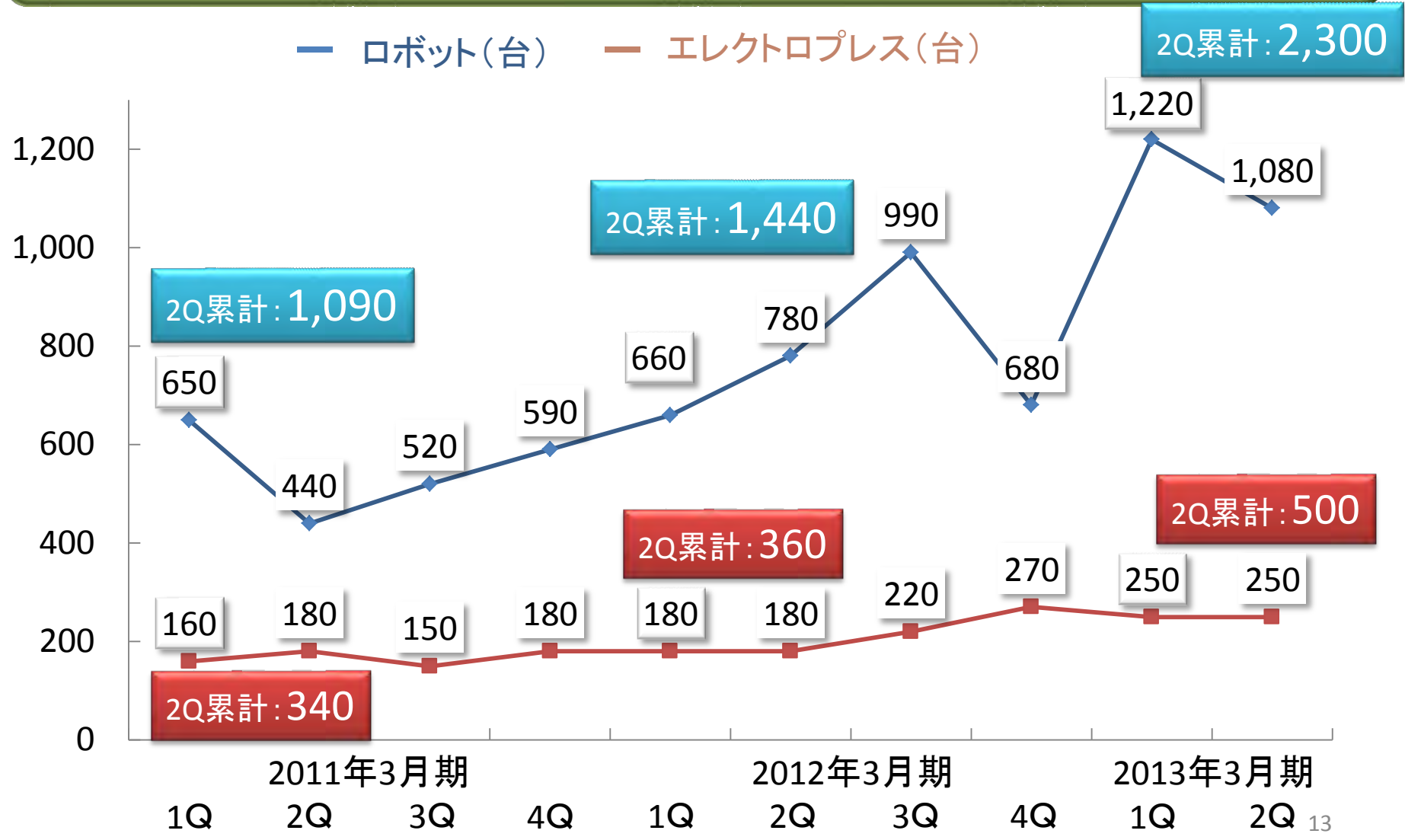


■ ロボット・プレス	1.6	1.6	3.0
■ ダイカスト	1.0	0.4	0.9
■ その他	0.0	0.0	0.0

プレス:エレクトロプレス

販売台数四半期推移【ロボット・プレス】

— ロボット(台) — エレクトロプレス(台)



貸借対照表

(百万円)

	12/3期	13/3期 2Q	増減
資産の部			
流動資産	20,568	20,140	△428
固定資産	29,099	28,960	△139
資産合計	49,668	49,100	△568
負債の部			
流動負債	17,830	17,882	52
固定負債	16,982	16,809	△173
負債合計	34,812	34,691	△120
純資産の部			
資本金	11,372	11,372	—
利益剰余金・自己株式	△2,294	△2,257	37
その他	5,777	5,293	△483
純資産合計	14,855	14,408	△447
負債・純資産合計	49,668	49,100	△568

キャッシュ・フロー

(百万円)

	12/3期 2Q	13/3期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21	△118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436	△577
財務活動によるキャッシュ・フロー	△315	△472
現金及び現金同等物の増減額	△931	△1,300
現金及び現金同等物の期首残高	6,792	5,885
現金及び現金同等物の期末残高	5,860	4,584

財務計数

(百万円)

		11/3期	12/3期	12/9月
有利子負債	(百万円)	19,159	18,453	18,033
D/Eレシオ	(倍)	1.4	1.3	1.3
債務償還年数 ^(※)	(年)	6.5	7.2	8.8
インタレストカバレッジレシオ	(倍)	6.5	2.0	△0.6
自己資本	(百万円)	13,602	14,348	13,951
自己資本比率	(%)	27.7	28.9	28.4
ROA(総資本経常利益率)	(%)	3.2	4.2	1.2
ROE(自己資本経常利益率)	(%)	11.7	14.5	4.2
たな卸資産回転期間	(月)	1.8	2.2	2.3

※債務償還年数:有利子負債/EBITDA

12/9月の債務償還年数、ROA、ROEは2Q実績を年換算

2013年3月期 通期連結業績見込み

2013年3月期 第3四半期以降の見通し

◎経営環境

- ◆ 欧州債務危機による信用不安の長期化を懸念
- ◆ 中国、インド市場をはじめとする新興国経済の減速
- ◆ 世界的な価格競争激化による低価格化

◎当社の取り組み

- ◆ 新製品投入と製品ラインアップの整備による市場の活性化
- ◆ 引き続き、徹底したコスト削減による、価格競争力の強化

通期業績見込み

(百万円)

	12/3期 通期実績	13/3期 通期見込み	増減	13/3期 当初公表数字
売上高	37,040	39,000	1,960	39,000
営業利益 [営業利益率]	2,331 6.3%	2,200 5.6%	△131 0.7P減	2,400 6.2%
経常利益 [経常利益率]	2,078 5.6%	1,300 3.3%	△778 2.3P減	2,000 5.1%
当期純利益	184	500	316	800

13/3期当初公表数字:2012年5月15日発表数字

2012年度グッドデザイン賞を受賞。

さらに、グッドデザイン・ベスト100に選ばれました。

DC6030



弊社のあるべき姿に向けて

創立100周年に向けた目標
— あるべき姿 —

- ① 家庭用ミシンのTOP企業
- ② 家庭用ミシンと産業機器の二本柱
- ③ 復配

弊社の経営計画

100周年

リーマンショック

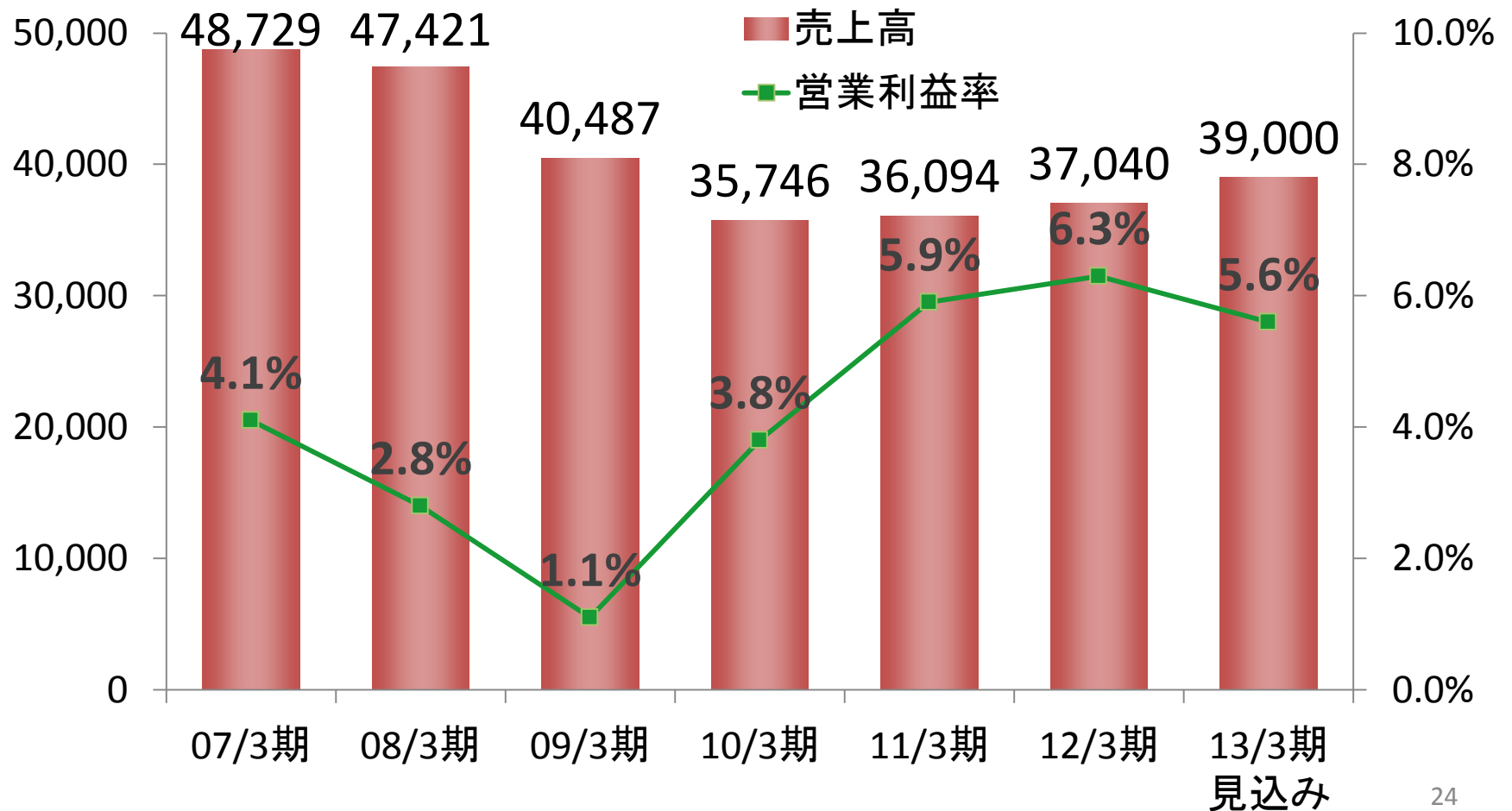


2021年

現状(1)

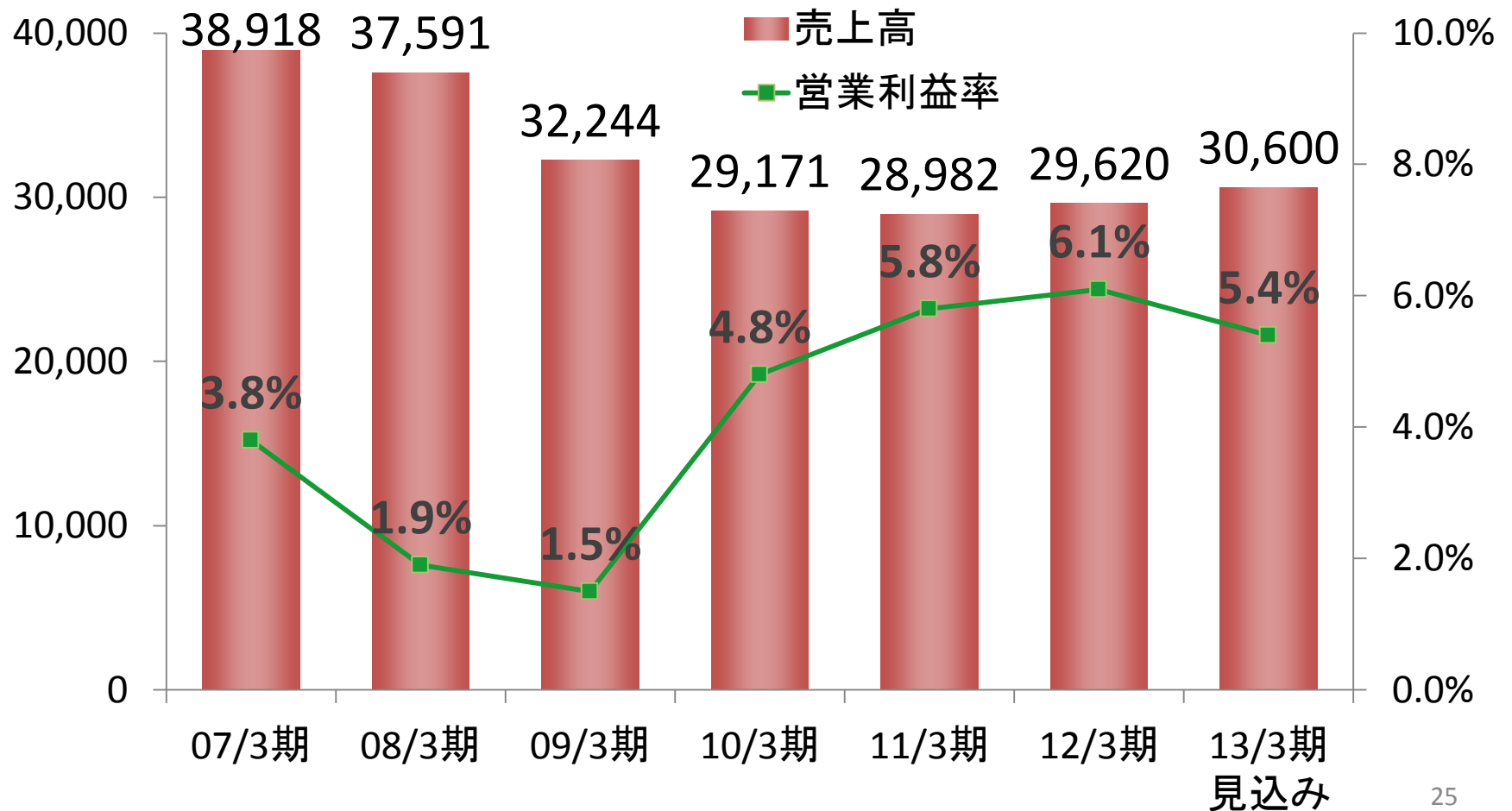
売上高と営業利益率の推移(全般)

(百万円)



現状(2)

売上高と営業利益率の推移(家庭用機器) (百万円)



弊社の課題（家庭用機器事業）

- 特に新興国市場を中心としたミシン市場の拡大
- 最大の市場である北米での取り組み
- 国内市場での低価格化と、需要の低迷

『ジャンメ キルトギャラリー』

JANOME

2012年2月1日
赤羽にオープン

ギャラリー内



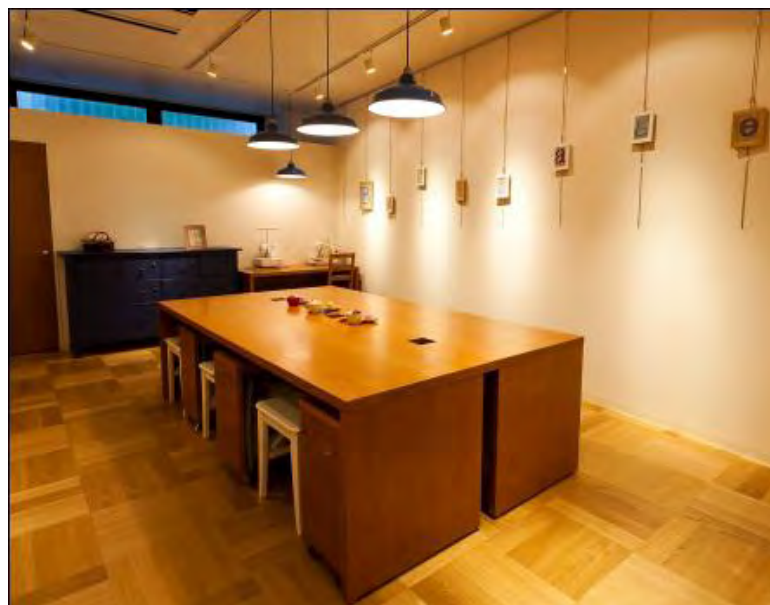
『Bobinage (ボビナーージュ)』

JANOME

2012年3月4日
吉祥寺にオープン

(上段)
左:店頭
右:店内

(下段)
左:3階教室スペース
右:クリエイトルーム



『ソーイングルーム 高槻』

JANOME

2012年7月26日
直営高槻支店内にオープン

右:店頭

(下段)

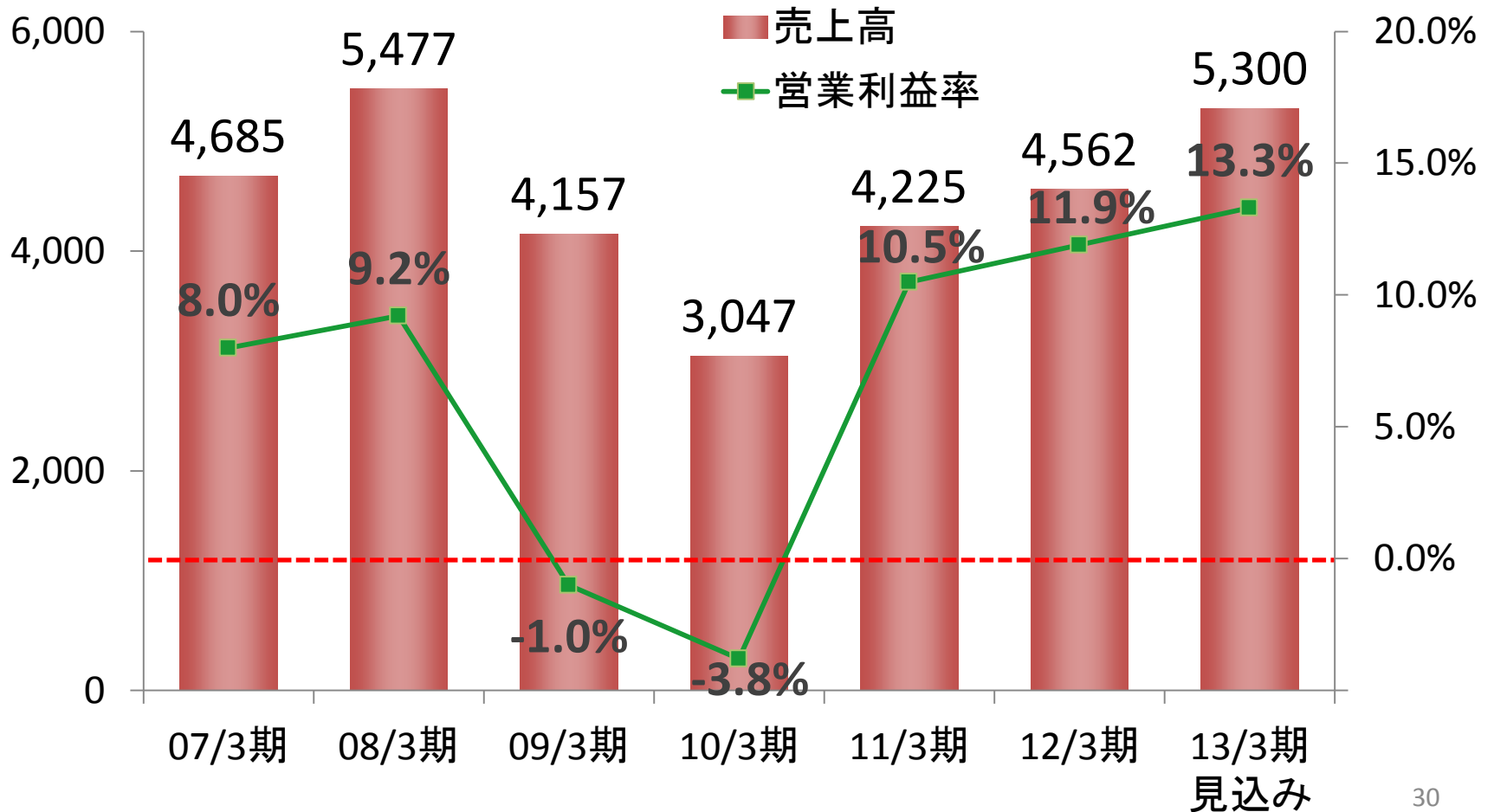
左:2階教室スペース
右:教室風景



現状(3)

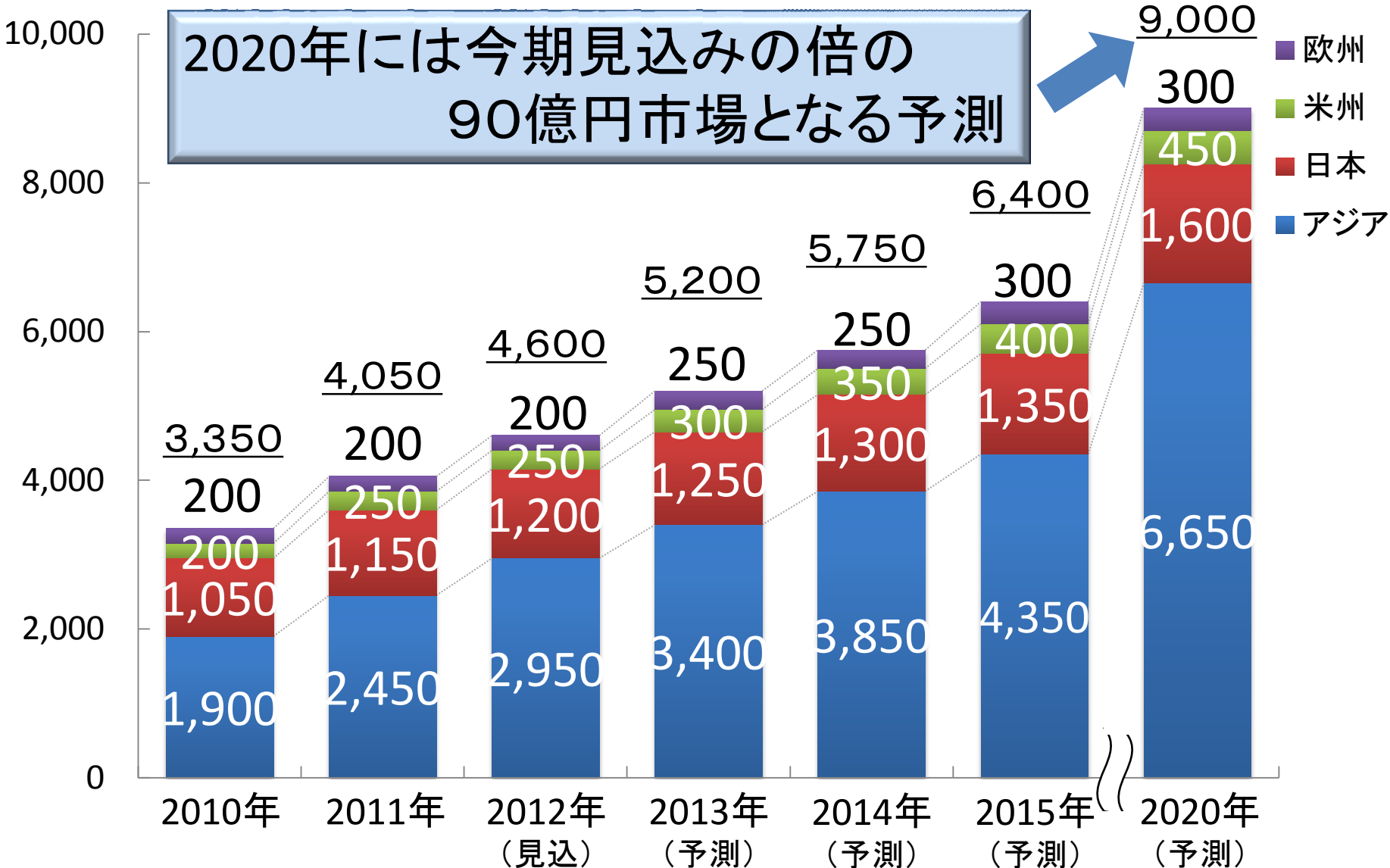
売上高と営業利益率の推移(産業機器)

(百万円)



卓上ロボット地域別市場規模(金額)

(百万円)



※出所:富士経済 2012 ワールドワイドロボット市場の現状と将来展望

弊社の課題（産業機器事業）

- ミシンと並ぶ、事業の二本柱へ育成
- 市場規模拡大への対応
- 卓上ロボット、エレクトロプレスに次ぐ新たな商材の検討
- ダイカスト関連事業の将来

弊社の課題(その他)

➤ 生産部門(マシン)では、

○ 一層のコストダウン

○ 生産拠点の見直し

⇒ 同業他社がベトナムに生産拠点を設立

弊社は当面はタイで低価格機種を中心に生産増強

➤ 財務基盤の改善と強化

次期3カ年計画

創立100周年時の弊社のあるべき姿に向けて、課題への対応を検討し、施策を含めて取り組む。

蛇の目ミシン工業株式会社

本資料で記述されている計画・予測等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因により記述されている計画・予測等とは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等が含まれます。